

VideoKeeperLite(ビデオキーパー・ライト)補足説明書

本書では、製品に同梱されている取扱説明書には記載されていない機能などを解説いたします。

＜VideoKeeperLiteは「二重起動」しないでください。＞

VideoKeeperLiteは、構造上アプリケーションを複数起動することができますが、複数起動した場合、正しく動作しません。恐れ入りますが、VideoKeeperLiteは複数起動しないようお願いいたします。

＜OSDカメラ・デバイス設定の追加＞

「その他の設定」に、「OSDカメラ・デバイス選択」が追加されました。
「OSDカメラ・デバイス選択」では、「OSD設定」で子画面・オーバーレイ表示するためのカメラデバイスを選択することができます。なお、カメラデバイスの解像度やアスペクト比率は指定できません。

＜回転して録画した時のフレームレート低下に関して＞

画面を回転させた状態は、極めて高いリソースを消費します。このため、フレームレート (fps) が通常の半分以下になる場合があります。特に入力映像の解像度が高くなると、フレームレートの低下が顕著になります。
取扱説明書にあるDDR4メモリの要求値は、あくまで映像の乱れを感じない程度の目安ですが、映像の明るさに変化が発生する場合があります。

＜HDMI (DVI 含む) や RGB、コンポーネントで表示まで時間が掛かる＞

HDMI (DVI)、RGB、コンポーネントは、入力切替や解像度変更時に映像が表示されるまで時間がかかります。

＜その他＞

- 「特殊録画」は、映像が途切れた時には録画を継続できますが、解像度の変更時は録画を継続することができません。
- 「特殊調整設定」の「RGB SYNC SOG」は、機能が正しく動作しないことが確認されたため、削除されました。
- 画面を回転させた状態で録画することは可能ですが、静止画 (JPEG/BMP) は回転して記録することはできません。
- 本書に記載されている「設定ウィンドウ」のデザインと、CD-ROMに収録されたVideoKeeperLiteの「設定ウィンドウ」のデザインは、若干異なりますがご了承ください。

音声設定

音声設定は各入力チャンネルごとに音声を選択する機能です (ご利用のキャプチャーデバイスに無い端子は使用できません)。初期状態では、各入力「PCマイク入力」と「PCライン入力」は選択できない状態です。パソコン側のマイク入力やライン入力を利用する場合は、最初に、「PCマイク選択」と「PCライン選択」で、音声デバイスを指定してください。

〔入力設定の解説〕

各入力設定の意味は以下のようになります。

- 【アナログ】XCAPTURE-1のD端子/RGB用のアナログ音声を使用します。
- 【デジタル】HDMI端子やDVI端子から入力されたデジタル音声を使用します。
- 【PCマイク入力】PCマイク選択で指定されたパソコンの音声入力を使用します。
- 【PCライン入力】PCライン選択で指定されたパソコンの音声入力を使用します。

＜HDMI 音声方式＞

HDMI入力時の音声を選択
できます。

＜RGB 音声方式＞

RGB入力時の音声を選択
できます。

＜コンポーネント音声方式＞

コンポーネント入力時の
音声を選択できます。

＜S-ビデオ音声方式＞

Sビデオ入力時の音声
を選択できます。

＜PCマイク選択＞

マイク入力として使用するパソコンの音声デバイスを
指定することができます。マイク入力を使用する場合は、
まずPCマイク選択でデバイスを指定してください。
選択後は必ず「決定」ボタンを押してください。

※パソコンのマイク入力端子に「マイク」が接続され
ていない場合は、選択できない場合があります。

ライン入力として使用するパソコンの音声デバイスを
指定することができます。ライン入力を使用する場合は、
まずPCライン選択でデバイスを指定してください。
選択後は必ず「決定」ボタンを押してください。

※パソコンのライン入力端子に「ケーブル」が接続され
ていない場合は、選択できない場合があります。

＜PCライン選択＞

OSD 設定

OSD設定は、キャプチャー映像に、文字や画像をオーバーレイする機能です。録画する動画や静止画に時間や文字、カメラ映像を同時に記録できる便利な機能です。

――＜ウォーターマーク画像選択＞――

キャプチャー映像上に、ユーザーが作成した静止画を
オーバーレイすることができます。
ファイル形式は「BMP」です。
100%の白は透明と判断されるため、完全に透けます。
それ以外の色は「透明度」で透明度を調整できます。
映像に「ロゴなどの透かし (ウォーターマーク)」を入
れたいときに便利です。
なお、設定が「None」のときは、画像のオーバーレイ
は「オフ」となります。

――＜注意――――

オーバーレイする画像が、微細 (1ピクセル単位での
網掛け表現や細かい模様が多い画像) な場合、H.264
エンコード時にCPUにとって負荷を増大させる要因
となります。これによりフレームレートが著しく低下
する場合もあるため、ご了解の上ご利用ください。

――＜USBカメラ合成＞――

「カメラオーバーレイ」のチェックボックスを「オン」
にすることで、USBカメラの映像を、ピクチャー・イ
ン・ピクチャー (子画面) で合成できます。
子画面のサイズは4種類から選択でき、表示位置は5
種類から選択できます。
また、「透明度」で、カメラ映像の透明度を指定でき
ます。
なお、オーバーレイできるカメラは「その他の設定」の、
「OSDカメラ・デバイス選択」で指定することができ
ます。
※カメラの解像度やアスペクト比率は設定できません。

――＜文字合成＞――

「文字オーバーレイ」のチェックボックスを「オン」にすることで、以下の文字情報をオーバーレイできます。
文字のサイズは3種類から選ぶことができます。
また、「透明度」で、文字の透明度を指定できます。

＜文字設定＞

オーバーレイしたい項目のチェックボックスを「オン」にすると、以下の文字をオーバーレイできます。
4種類の位置と色、透明度を指定することができます。

プロジェクト名: 「保存場所と名前の設定」の「プロジェクト名をファイル名に追加」に記載されている
文字をオーバーレイします。

担当者: 「保存場所と名前の設定」の「担当者をファイル名に追加」に記載されている文字をオー
バーレイします。

コメント: コメント覧に入力した、文字をオーバーレイできます。

＜時間設定＞

オーバーレイしたい項目のチェックボックスを「オン」にすると以下の時間をオーバーレイできます。

現在: 現在の時間 (パソコンの時計の時間) をオーバーレイします。

録画: 録画開始されてからの時間をオーバーレイします。

＜録画カウンター＞

録画開始されてからのフレーム数をオーバーレイします。

※オーバーレイされる文字やカメラ映像の画質は、キャプチャーデバイスに入力される映像の解像度に
比例します。例えばXCAPTURE-1にSD解像度の映像が入力されていると、オーバーレイされる
文字やカメラ映像の画質もSD画質となります。